

臨時総代会 来賓祝辞

愛知県議会 農林水産委員長 鈴木 雅博 様

本日は愛知用水土地改良区令和4年度の臨時総大会のご開催誠にありがとうございます。愛知用水土地改良区の皆様方におかれましては、私たちの生活暮らしの最も基本となる食、それを支える農業の発展に平素からご尽力いただいておりますことを心より感謝申し上げます。

先ほど、久野理事長のからもお話のありました用水の管理、土地改良事業の維持、これが老朽化や耐震化などの対策の重要性を改めて認識しているところであります。隣の明治用水では、矢作川のある頭首工が事故を起こして水が取れないということで、農業の田植えの時期に非常に大きな打撃を受けました。全国でも大きなニュースとなり、やはり地域でしっかりと農業を支える基盤をどうやって維持していくのか、また、しっかりと管理して営農をされている皆様の所へ水を運んでいくのかということこれから改めて考えていかなければならない時期になっているかと思えます。

引き続きの愛知用水土地改良区の発展、そして本日ご参会の皆様様の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

本日はご開催誠にありがとうございます。

東海農政局長 小林 勝利 様 (代理 地方参事官 関島建志 様)

本日ここに愛知用水土地改良区令和4年度臨時総大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

久野理事長様をはじめ、本日ご立席の皆様方におかれましては、日頃から愛知用水施設の維持管理にご尽力いただくとともに、地域農政の推進、とりわけ、農業農村整備事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめに、明治用水頭首工において発生した漏水事故につきまして、農業農村整備事業の関係者の皆様には大変ご心配をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。現在、農林水産省をあげ事故原因の究明や復旧対策方法の検討を行っており、有識者委員会のご意見や今後の調査結果を踏まえて、頭首工の速やかな全面復旧に向け努力してまいります。

さて、農林水産省では世界の食糧需給をめぐるリスクの顕在化に対応するとともに、農林水産業の成長産業化と農産漁村の次世代への継承を実現するため、「農林水産業・地域の活力創生プラン」等に基づき、食糧安全保障の確立と農林水産業の持続可能な成長を推進するため、総額2兆6,808億円の令和5年度予算の概算要求を決定しております。このうち、農業農村整備事業には、対前年度比18%となる3,933億円を計上しておりますので、予算確保に向け引き続きご支援をお願いいたします。

次に、現在の農業を取り巻く状況は、新型コロナやウクライナ情勢による食糧安全保障リスクの高まりへの対応が緊急の課題となっております。農業農村整備事業におけるこれ

ら食糧安全保障強化についての対応として、麦、大豆の生産拡大を図るための水田の畑地化、汎用化を促進する事業の推進を行うこととしております。また、昨年5月に策定した緑の食糧戦略については、本年7月に法律が施行されました。これまでの農業はどちらかというと、生産性の向上に主眼を置いたものでしたが、今後は生産性の向上に加え、環境にも配慮した持続的な農業となるように取り組むこととされています。

調達、生産、加工、流通消費のすべての段階での取り組みが求められますので、生産者や農業関係、団体の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

さらに、男女共同参画については、社会のあらゆる分野で取り組みが求められており、土地改良区につきましても、理事に占める女性の割合を10%以上にするなど、具体的な数値目標が掲げられております。この取り組みは、土地改良区における組織運営の体制強化を図る観点からも重要な取り組みであり、土地改良区役職員のみならず、総代組合員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

東海農政局といたしましても、水資源機構とともに愛知用水地区における各般の事業に必要な予算の確保や各種施策の推進に努めてまいりますので、引き続き現場の声をお届けいただくとともに、農政へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、愛知用水土地改良区のご発展と本日ご隣席の皆様方のご健勝とご活躍を記念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

独立行政法人水資源機構 中部支社長 桑原 耕一 様

本日の臨時総大会、午後からの愛知用水土地改良区創立70周年式典が盛大に開催されますこと誠におめでとうございます。

日頃から久野理事長をはじめとする愛知用水土地改良区の皆様方におかれましては、水資源機構の事業推進や管理運営にご支援ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

昨年9月30日に愛知用水の通水から60周年を迎え、本年は愛知用水土地改良区創立70周年。水資源機構におきましても、前身の水資源開発公団の設立から60年の節目を迎えております。この間、愛知用水は用水の安定供給を通じて、地域の飛躍的な発展に大きく貢献してまいりました。このことは、用水供給を現場で支える土地改良区の役職員や、関係の皆様のご長年に渡るご努力と、事業へのご理解をいただいていた賜物と考えております。改めて深くお礼申し上げます。

一方で愛知用水施設は、当初事業から60年、二期事業で更新した施設も更新が早かった施設では30年以上が経過し、老朽化に伴う施設の不具合も散見されるようになってきております。今後、南海トラフ地震に対応した耐震性の確保や、牧尾ダムの堆砂対策も視野に入れつつ、皆様とリスクコミュニケーションを図りながら、適切な施設の保全と改築にかかる調査や事業の実施に向けて検討を進めてまいります。

また、三好支線水路緊急対策事業は事業の最終年度を迎え、三好池関連工事はほぼ完了

し、残る支線水路工事の年度内完了に向けて着実に推進してまいります。

水資源機構では、水源施設から支線水路施設に至るまでの施設機能を一体的に発揮し用水の安定供給を図るとともに、牧尾ダムにつきましては、線状降水帯による集中豪雨にも的確に対応した事前放流操作を行うなど、的確な管理に引き続き努めてまいります。

最後になりましたが、愛知用水土地改良区のますますのご発展と皆様のご健勝とご多幸を記念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊博 様
(代理 専務理事 室本 隆司 様)

愛知用水土地改良区の令和4年度臨時総大会がこのように盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。

さて、世紀の大事業であった愛知用水事業は昭和32年11月の三好池の建設工事をもってスタートし、牧尾ダムや幹線水路等の建設を経て、昭和36年9月30日に通水に至り、同年12月17日に吉田茂元総理も式典に出席された東郷調節池の完工により、昭和37年3月にわずか4年余りという短い期間で建設事業を終えました。

事業の完了後は、昭和40年代に稲作から畑作振興への転換など農業をめぐる情勢が大きく変化し、また開水路では経年劣下に伴い漏水等が生じるようになったため、水資源開発公団は昭和56年度から愛知用水二期事業に着手し、幹線水路の改修と二連化、支線水路パイプライン化などを行うとともに、平成7年度からは、牧尾ダムの堆砂対策を追加し、平成18年度にすべての施工を終えました。

さらに、水資源機構は三好池を南海トラフ地震にも耐えられるように補強するために、平成30年度から愛知用水三好支線水路緊急対策事業に着手し、令和3年12月22日に堤体耐震補強を終えました。

このように、愛知用水土地改良区は昭和27年の設立以来、愛知用水公団、水資源開発公団、水資源機構営事業による農業用水の開発ならびには場整備事業の着実な推進を通じ、都市近郊にもかかわらず、1万ヘクタールもの大規模な農業地域の維持に多大な貢献をされてこられました。これもひとえに久野理事長を筆頭に歴代の役職員、総代をはじめとする組合員ならびに、関係の皆様方の弛みない努力の賜物であり、深く敬意を表するところであります。

私は、全土連の会長に就任して以来、戦う土地改良を掲げてまいりました。去る7月には、進藤参議院議員の2度目の戦いがありましたが、皆様方の絶大なるご支援をいただき、引き続き、国会で働くことができるようになりました。進藤、宮崎両参議院議員が我々組織の代表となって、車の両輪体制のもと組織一丸となって戦った結果、民主党政権時代に大幅削減された予算も大きく回復することができたのであります。進藤、宮崎議員は額に汗して全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけではなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しています。どうか

進藤、宮崎両参議院議員は皆さんの代表ですから、皆さんの声を遠慮なくぶつけてください。そして、国会に農家の皆さんの声が届くように、2人の活動の支援をお願いいたします。

財務省はこの2人が揃って国政の場で力を発揮していくのか、目を凝らして見ています。3年後は宮崎議員の戦いがあります。宮崎議員が戦う土地改良の代表として引き続き、不退転の決意で、現場の課題解決に奮闘できるよう、皆さんの温かいご支援をお願いいたします。

結びに、愛知用土地改良区のますますのご発展と皆様方のご健勝、ご活躍を祈念しましてお祝いの言葉といたします。

国政報告

参議院議員 宮崎 雅夫 様

本日は令和4年度臨時総大会のご盛会誠にありがとうございます。そして午後から創立70周年記念式典が行われるわけでございます。それにつきましても、一足早いわけでございますが、併せてお喜びを申し上げたいと思います。

先ほど、私の相棒でありますもう1人の会長会議顧問の進藤金日子議員の祝電を披露していただいたわけでございますけれども、私からも7月の参議院選挙におきましては、久野理事長、役員、総代、職員の皆様方から本当に大きなご支援を賜りまして、進藤議員も再選を果たすことができたわけでございます。

そして、私事で恐縮でございますが、ご紹介をいただきましたように、8月まで農林水産大臣政務官を仰せつかっておりました。その職席を果たすことができましたのも、今日お集まりのお皆様方のご支援のおかげだと思っております。この場をお借りしまして、皆様方の日頃からのご支援に対しまして、お礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

今日は私の方から、貴重なお時間を頂戴いたしまして、国政報告をさせていただきたいと思っております。

- ・物価上昇による農業への影響に対する対応について
- ・食料安全保障について
- ・土地改良の予算について

私も進藤議員とともに土地改良の代表として、皆様方の先頭に立たせていただいて、全力で前に進んでいくことをお誓い申し上げたいと思います。結びになりますが、改めて本日臨時総大会のご盛会をお祝い申し上げますとともに、愛知用土地改良区のますますのご発展、本日お集まりの皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます私からのご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

